

空知信用金庫・第159回地域企業景気動向調査

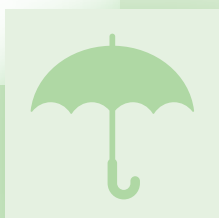
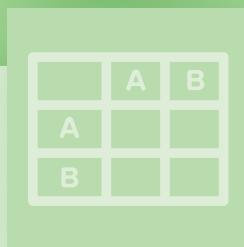
# 景況レポート

## 2026.4

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和8年1月～3月の景気の現状と令和8年4月～6月の見通しを調査したものです。

令和8年4月末日

空知信用金庫・地域支援部  
岩見沢市3条西6丁目2番地1  
電話(0126)22-1171



# 第159回 地域企業景気動向調査要項

## 1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

## 2. 調査対象期間

令和8年1月～令和8年3月期（実績） 令和8年4月～令和8年6月期（予想）  
令和8年3月2日～3月5日に実施

## 3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

## 4. 業況判断指数

D・I値による判断

**D・Iとは？** Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略  
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものの。  
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

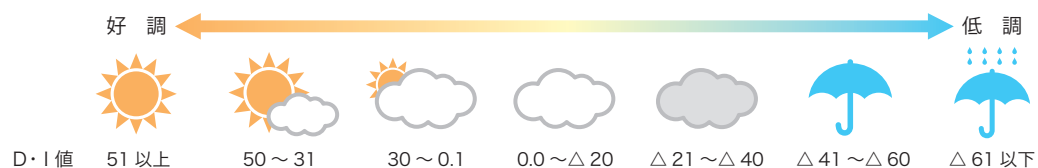
**D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」**

## 5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区 分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製 造 業	24	23	96
卸 売 業	16	14	88
小 売 業	57	55	96
サ ー ビ ス 業	32	30	94
建 設 業	43	43	100
不 動 産 業	7	7	100
運 輸 業	17	17	100
農 業	28	28	100
計	224	217	97

## 6. 天気図の見方

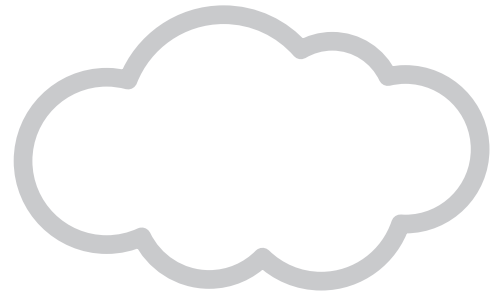
景気指標を総合的に判断して作成



## 7. 特別調査

「中小企業経営者のライフデザイン」

# 総合



## 概況

### コスト高継続、売上・収益共に低迷。来期改善見通し

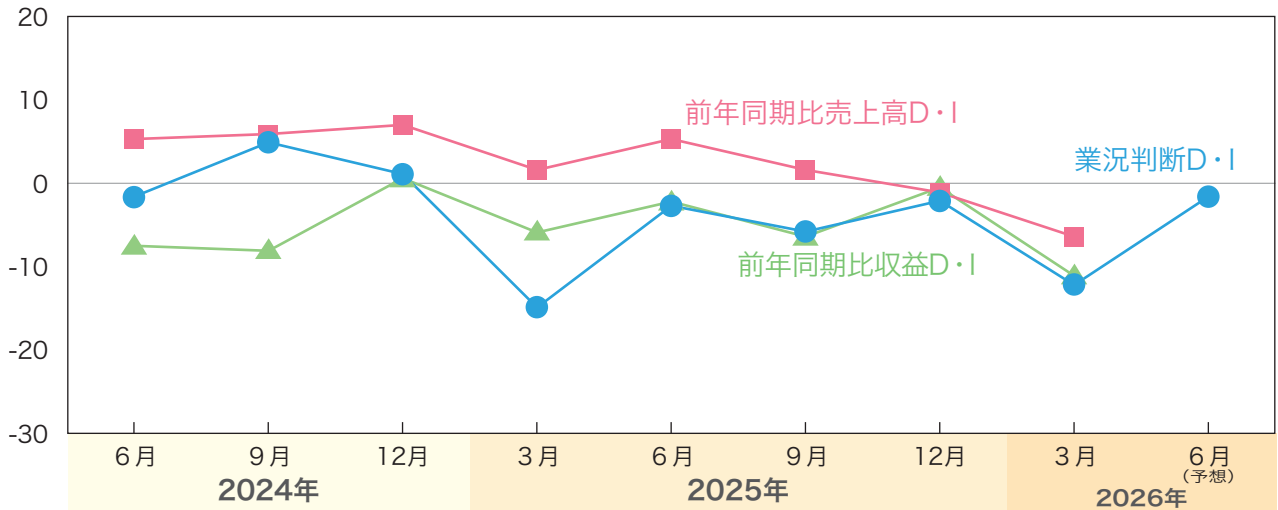
今期の業況判断指数(D・I値)は、△12.2と前期(10月～12月)より10.1ポイント下降しました。業種別に見ますと卸売業のみ上昇、運輸業で横這いのほか、他の5業種はいずれも下降しました。売上高D・I値は△6.4と前期比5.3ポイント下降し、卸売業で上昇、運輸業で横這い、他の5業種で下降しました。収益D・I値は△11.1と前期比10.6ポイント下降し、卸売業で上昇、他の6業種はいずれも下降となっております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.9	△2.1	△12.2	△1.6
売上高D・I	1.6	△1.1	△6.4	—
収益D・I	△5.9	△0.5	△11.1	—

### 来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数(D・I値)は△1.6で、今期より10.6ポイントの上昇が見込まれております。業種別では、卸売・不動産業で横這い、他の5業種でそれぞれ上昇を見込んでおります。主要指標は、前年同期比で物価の高騰が続く中、マイナス圏での推移となっておりますが、コスト上昇分に対する価格転嫁及び建設業を主体とした着業期もあって、来期見通しは改善を見込んでおります。

### 主要指標の推移



### 前期比D・Iの推移

#### ○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	0.0	21.7	39.2	39.1
卸 売	46.2	64.3	78.6	71.4
小 売	30.9	12.8	23.6	10.9
サービス	24.2	20.0	33.3	40.0
建 設	20.9	21.0	18.6	27.9
不 動 産	—	—	14.3	42.9
運 輸	35.3	41.2	35.3	29.4
農 業	60.7	28.6	25.0	25.0

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

#### ○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	26.1	26.1	43.5	39.1
卸 売	53.8	71.4	78.6	71.4
小 売	34.6	20.0	29.0	21.8
サービス	31.1	36.7	36.7	43.3
建 設	55.8	37.2	37.2	32.6
不 動 産	14.3	14.3	28.6	42.9
運 輸	52.9	41.2	35.3	41.2
農 業	64.3	64.3	64.3	53.6

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△26.1	△26.1	△26.1	△21.7
卸 売	△7.7	△7.1	△14.3	△14.3
小 売	△20.0	△20.0	△20.0	△20.0
サービス	△37.9	△30.0	△20.0	△23.3
建 設	△30.2	△18.6	△25.6	△27.9
不動産	△14.3	—	—	—
運 輸	△47.1	△52.9	△47.1	△47.1
農 業	—	—	—	—

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△8.7	△4.3	△4.3	△4.4
卸 売	—	—	—	—
小 売	△1.8	1.8	△1.8	△1.9
サービス	3.4	0.0	△6.7	0.0
建 設	△7.0	△2.4	2.4	4.7
不動産	—	—	—	—
運 輸	△5.9	—	5.9	5.9
農 業	—	—	—	—

○借入金の動き・難易度

(%)

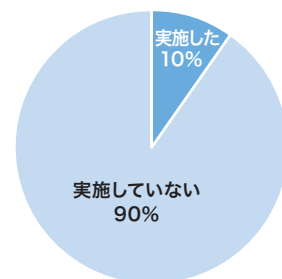
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難 しい	該 当 な し
製 造	13.0	8.7	13.0	65.2	8.7	13.1
卸 売	14.3	7.1	7.1	92.9	—	—
小 売	16.4	10.9	3.6	76.4	5.5	14.5
サービス	20.0	6.7	10.0	76.7	3.3	10.0
建 設	18.6	9.3	9.3	76.7	7.0	7.0
不動産	14.3	14.3	—	71.4	28.6	—
運 輸	11.8	29.4	5.9	76.5	11.8	5.8

○設備投資の動き

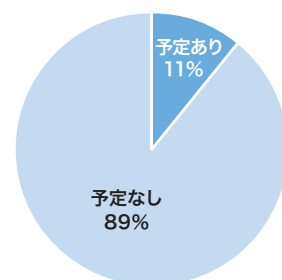
(%)

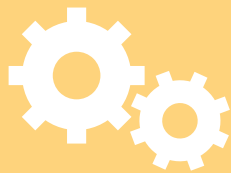
	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	17.4	4.3	13.0	8.7
卸 売	7.7	7.1	7.1	14.3
小 売	5.5	12.7	5.5	5.5
サービス	17.2	13.3	10.0	6.7
建 設	23.3	4.7	9.3	14.0
不動産	—	—	—	—
運 輸	5.9	5.9	23.5	29.4
農 業	3.6	3.6	—	14.3

2026年1月～3月期  
設 備 投 資

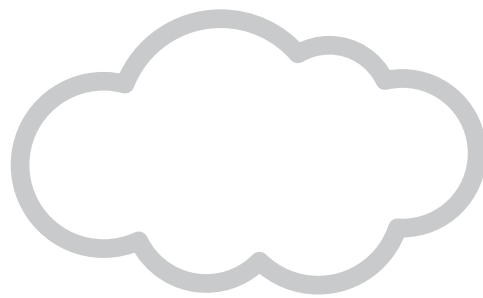


今後3ヶ月以内  
設 備 投 資 計 画





# 製造業



## 概況

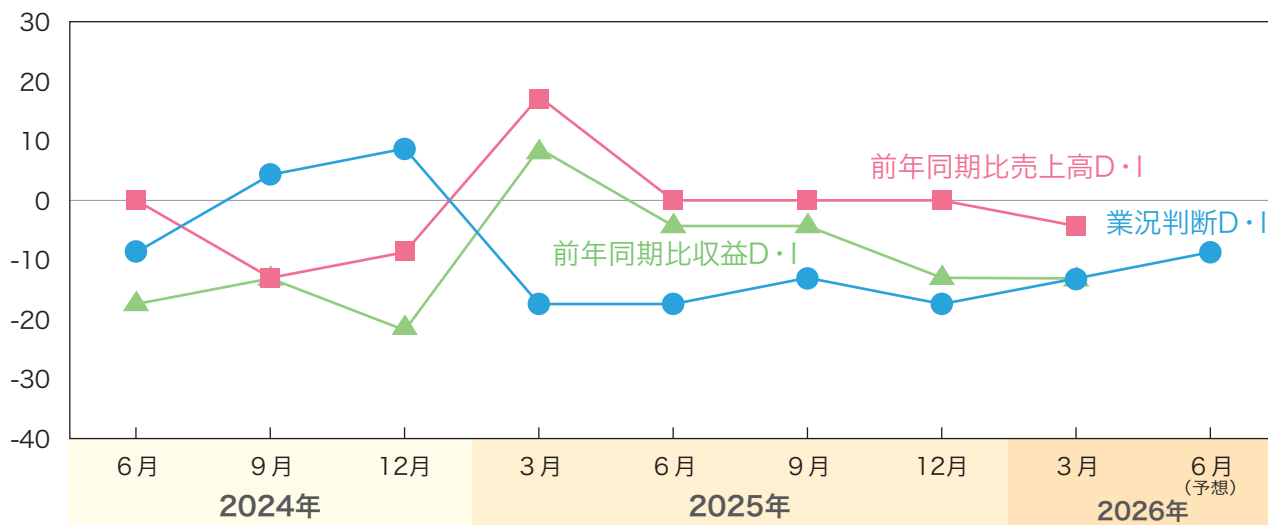
今期の業況判断指数（D・I値）は、 $\Delta 13.1$ と前期（10月～12月）から4.3ポイント上昇したものの依然マイナス圏での推移となりました。業種別では土石製品製造・一般機械器具製造業で上昇しましたが、食品製造業・出版・印刷・同関連産業で下降となりました。売上高D・I値は $\Delta 4.3$ ポイントと前期比下降、収益D・I値は $\Delta 13.1$ ポイントと前期比横這い。売上の減少及び原材料費の高騰が収益を圧迫する状況が続いています。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	$\Delta 17.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 13.1$	$\Delta 8.7$
売上高D・I	17.4	0.0	$\Delta 4.3$	—
収益D・I	8.7	$\Delta 13.0$	$\Delta 13.1$	—

## 来期の見通しについて

来期については、全業種で横這いでの推移を見込んでおり全体では改善の見通しとなっています。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・原材料の高騰から販売価格の維持に苦慮しており、価格転嫁を検討せざるを得ない。
- ・人手不足及び人件費負担重く収益性が低下。引続き経費の節減等の企業努力必要。
- ・為替の影響により仕入価格上昇もあり、仕入先の変更、価格交渉に苦慮。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	原材料高 47.8%	原材料高 60.9%
第2位	売上の停滞・減少 43.5%	売上の停滞・減少 52.2%
第3位	人手不足 34.8%	人手不足 30.4%

(複数回答)

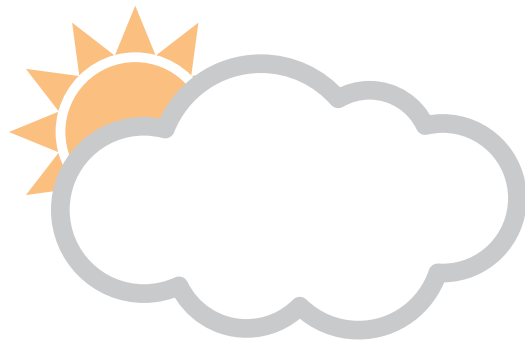
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 47.8%	販路を広げる 56.5%
第2位	人材を確保する 39.1%	経費を節減する 39.1%
第3位	情報力を強化する 21.7%	人材を確保する 34.8%

(複数回答)



# 卸売業



## 概況

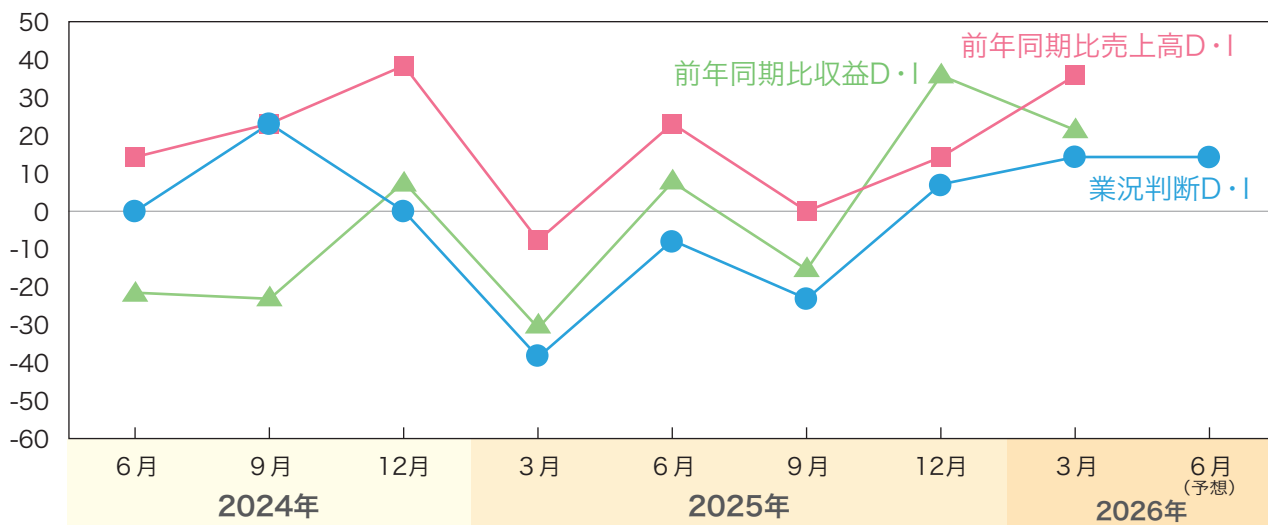
今期の業況判断指数（D・I値）は、14.3と前期（10月～12月）に比べ7.2ポイント上昇となっています。業種別では、農畜産物、食料・飲料卸売業で上昇しました。一方、建築資材卸売業では下降となりました。売上高D・I値も21.5ポイントの大幅上昇となりましたが、収益D・I値についても21.4と前期比14.4ポイント下降ながらプラス圏を維持しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△38.5	7.1	14.3	14.3
売上高D・I	△7.7	14.3	35.8	—
収益D・I	△30.8	35.8	21.4	—

## 来期の見通しについて

機械器具・建築資材卸売業で上昇見込みとなっており、その他業種においても大きな下降要因もなく全体でも今期同様プラス圏で推移する見通しです。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・売上増加のため販路開拓に向けた積極的な営業活動を展開。
- ・同業他社商品との差別化に向けてのブランディングの必要性を認識。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 53.8%	売上の停滞・減少 57.1%
第2位	利幅の縮小 46.2%	利幅の縮小 35.7%
第3位	同業者間の競争の激化 30.8%	人件費の増加 28.6%

(複数回答)

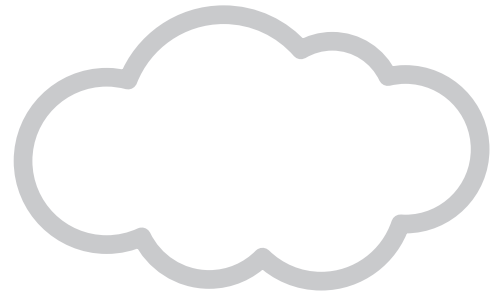
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 販路を広げる 76.9%	経費を節減する 71.4%
第2位	人材を確保する 30.8%	販路を広げる 64.3%
第3位	情報力を強化する 23.1%	人材を確保する 28.6%

(複数回答)



# 小売業



## 概況

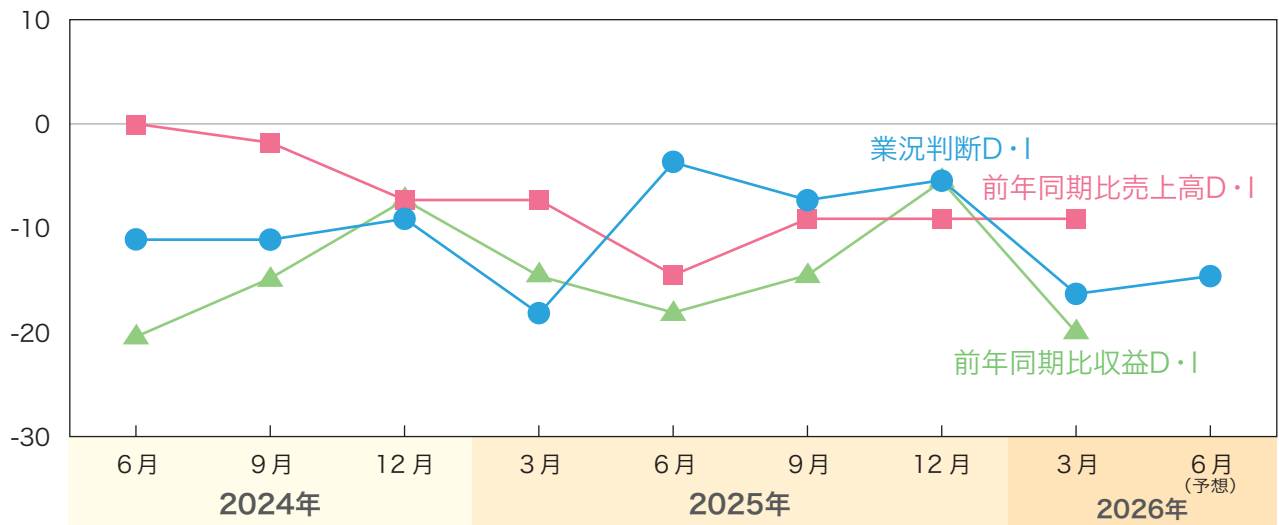
今期の業況判断指数（D・I値）は△16.3で前期（10月～12月）に比べ10.9ポイント下降となり依然マイナス圏での推移となりました。業種別では上昇が見られた業種はなく、6業種で下降。その他の6業種は現状維持となっています。売上高D・I値は△9.1ポイントと変化なく、収益D・I値は、△20.0と前期比14.5ポイント下降となりました。仕入価格上昇分の価格転嫁が遅れていることが要因の一つと考えられます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△18.2	△5.4	△16.3	△14.6
売上高D・I	△7.3	△9.1	△9.1	—
収益D・I	△14.6	△5.5	△20.0	—

## 来期の見通しについて

燃料小売業で上昇見込みですが、飲食店、家庭用機械・器具小売業で下降見込み、その他の業種はいずれも現状維持となっております。総体では、若干の改善見通しとはなっておりますが依然厳しい状況が予想されます。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・固定客確保のため、取扱商品に対する専門知識の習得や提案力向上に注力している。
- ・仕入価格上昇分を価格転嫁しているものの、賃上げの必要性から収益維持は厳しい。
- ・一般消費者の店頭価格への関心が高く、他社との比較から価格転嫁は限定的。
- ・食料品の消費税ゼロへの対応について非常に不安視している。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 41.8%	売上の停滞・減少 50.9%
第2位	商圏人口の減少 40.0%	商圏人口の減少 36.4%
第3位	人手不足 21.8%	人手不足 18.2%

(複数回答)

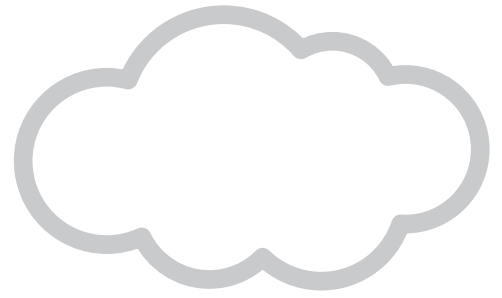
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 50.9%	経費を節減する 60.0%
第2位	商店街事業を活性化させる 30.9%	商店街事業を活性化させる 21.8%
第3位	品揃えを改善する 21.8%	売れ筋商品を取扱う 20.0%

(複数回答)



# サービス業



## 概況

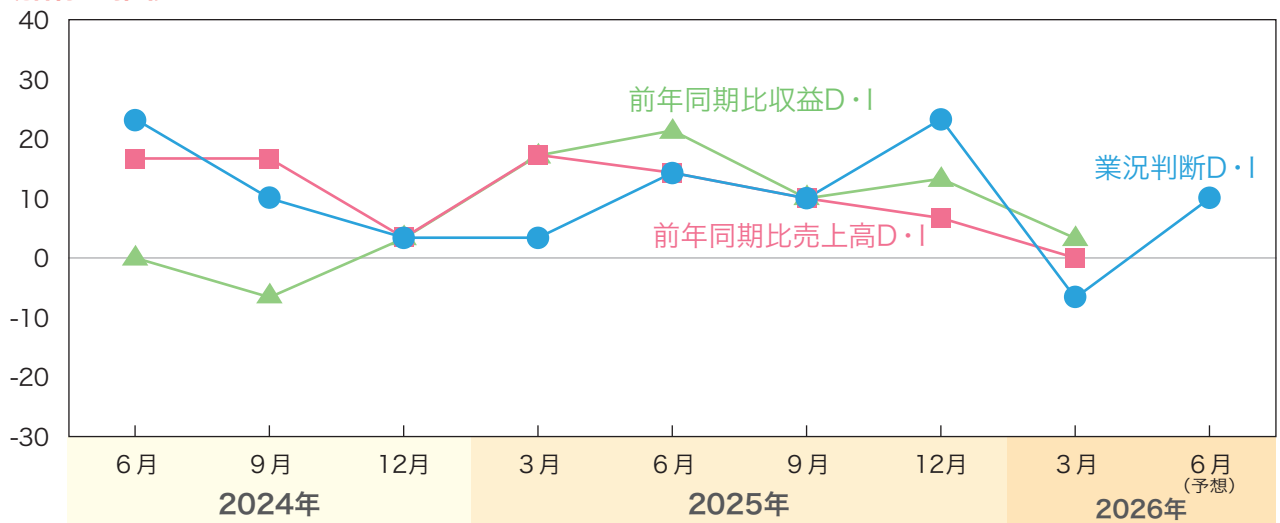
今期の業況判断指数（D・I値）は、△6.7と前期（10月～12月）に比べ30.0ポイントの大幅下降となり8期ぶりにマイナス圏での推移となりました。業種別では、その他のサービス業で上昇となったほか、物品賃貸業、洗濯・理容・浴場業で下降しました。そのほかの業種では横這いを維持しています。売上高D・I値は0.0と前期比6.7ポイント下降となり、収益D・I値においても3.3と前期比10.0ポイント下降となっています。売上の低迷と経費増加分の価格転嫁が進んでいない状況が窺えます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	3.4	23.3	△6.7	10.0
売上高D・I	17.3	6.7	0.0	—
収益D・I	17.2	13.3	3.3	—

## 来期の見通しについて

来期は、全業種で上昇を見込んでおり、特に物品賃貸、自動車整備業を主体に改善。全体でもプラス圏に復帰する見通しとなっています。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・業況自体は固定客多く安定。しかし、技術職の高齢化による技術の伝承に課題。
- ・原材料価格の高騰による影響が大きく、価格転嫁による収益確保に課題。
- ・設備更新を検討するも、不透明な景況感から対応を延期。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	人手不足 34.5%	売上の停滞・減少 60.0%
第2位	売上の停滞・減少 31.0%	人手不足 33.3%
第3位	同業者間の競争の激化 27.6%	材料価格の上昇 20.0%

(複数回答)

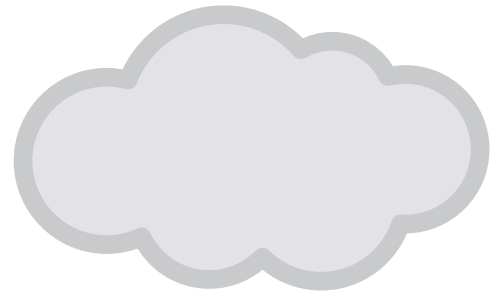
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 55.2%	販路を広げる 50.0%
第2位	経費を節減する 51.7%	経費を節減する 46.7%
第3位	人材を確保する 37.9%	人材を確保する 技術力を強化する 23.3%

(複数回答)



# 建設業



## 概況

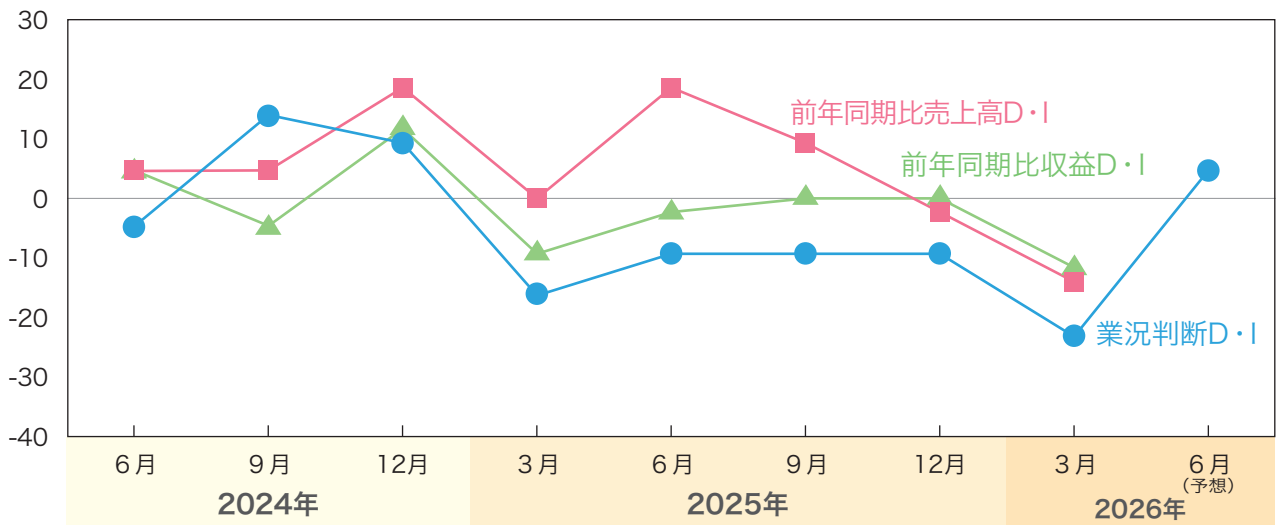
今期の業況判断指数（D・I値）は、△23.2と前期（10月～12月）と大幅に下降。業種別でも各業種とも下降となりました。売上高D・I値は△14.0と前期比11.7ポイント下降し、収益D・I値についても、11.6ポイント前期比下降となりました。土木工事業者は、少雪の影響により、一般住宅業者、設備・識別工事業者は、資材高騰と金利上昇もあって受注の減少が下降の要因と推察しております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△16.3	△9.3	△23.2	4.7
売上高D・I	0.0	△2.3	△14.0	—
収益D・I	△9.3	0.0	△11.6	—

## 来期の見通しについて

識別工事業で横這いのほか、総合・設備工事業で春先の工事着業期でもありいずれも上昇を見込んでおり、総体ではプラス圏に改善の見通しとなっております。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・慢性的に人手不足の状況から技能実習生（外国人）の増員を検討。
- ・重機オペレーターの高齢化もあり最新鋭機の導入が進まない。
- ・元請け先からの受注単価厳しく、人材確保に苦慮している。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	材料価格の上昇	65.1%	材料価格の上昇	58.1%
第2位	人手不足	37.2%	人手不足	34.9%
第3位	利幅の縮小	30.2%	売上の停滞・減少	30.2%

(複数回答)

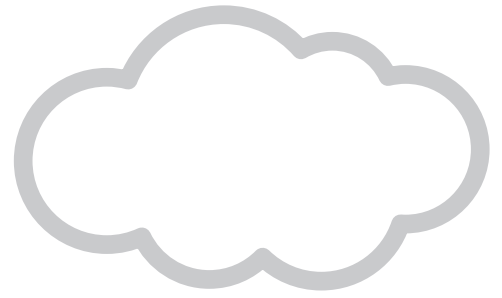
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する	65.1%	経費を節減する 人材を確保する	48.8%
第2位	人材を確保する	44.2%	販路を広げる	41.9%
第3位	販路を広げる	39.5%	技術力を強化する	18.6%

(複数回答)



# 不動産業



## 概況

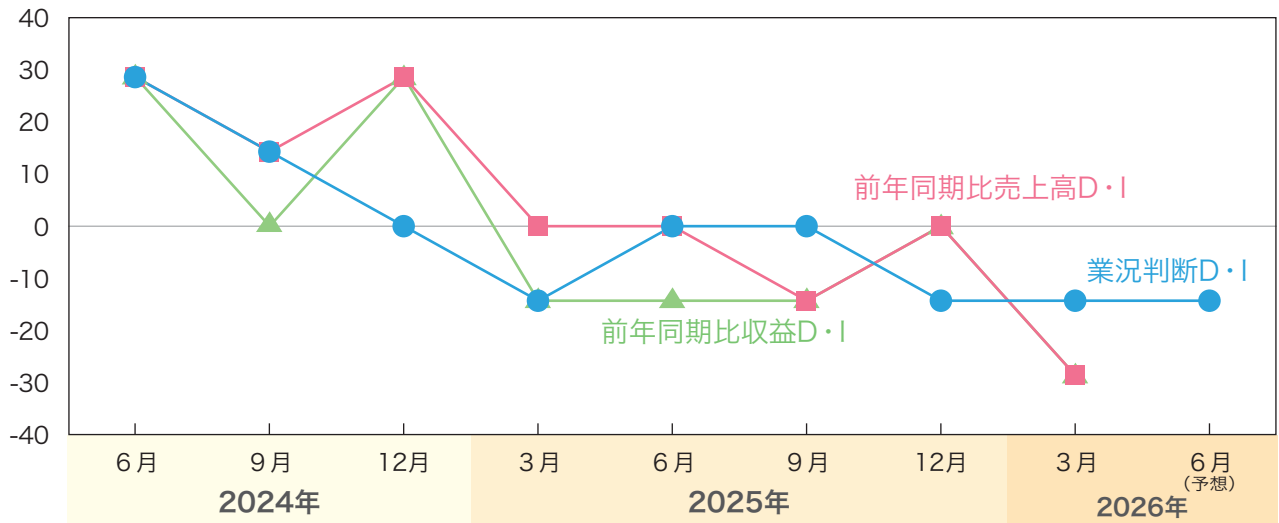
今期の業況判断指数(D・I値)は、△14.3と前期(10月～12月)から横這いで推移しました。業種別では不動産代理業・仲介業で下降し、他の業種では横這いでした。売上高D・I値は△28.6と前期比大幅下降、収益D・I値についても△28.6と同様に前期比大幅下降となりました。金利上昇懸念、建築資材の高騰による物件の需要鈍化が続いているものと推察されます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	△14.3	△14.3	△14.3
売上高D・I	0.0	0.0	△28.6	—
収益D・I	△14.3	0.0	△28.6	—

## 来期の見通しについて

全業種で改善要因乏しく現状維持する見通しから厳しい状況継続。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・金利上昇局面にあって、金利増加分の家賃への反映に課題。
- ・不動産売買・仲介共に動きは鈍く借入による物件取得先の減少。
- ・地方での物件入居率の改善、家賃引上げに課題。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商品物件の高騰 人手不足 42.9%	同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 42.9%
第2位	商品物件の縮小 同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 28.6%	商品物件の高騰 人件費の増加 14.3%
第3位		

(複数回答)

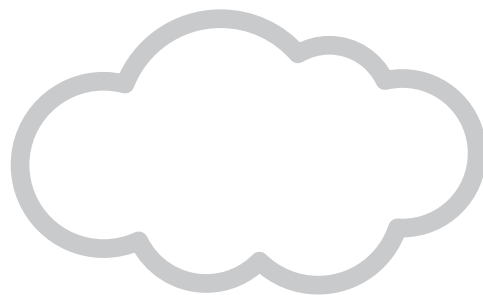
## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 71.4%	販路を広げる 71.4%
第2位	販路を広げる 42.9%	経費を節減する 42.9%
第3位	人材を確保する 宣伝・広告を強化する 提携先を見つける 28.6%	宣伝・広告を強化する 28.6%

(複数回答)



# 運輸業



## 概況

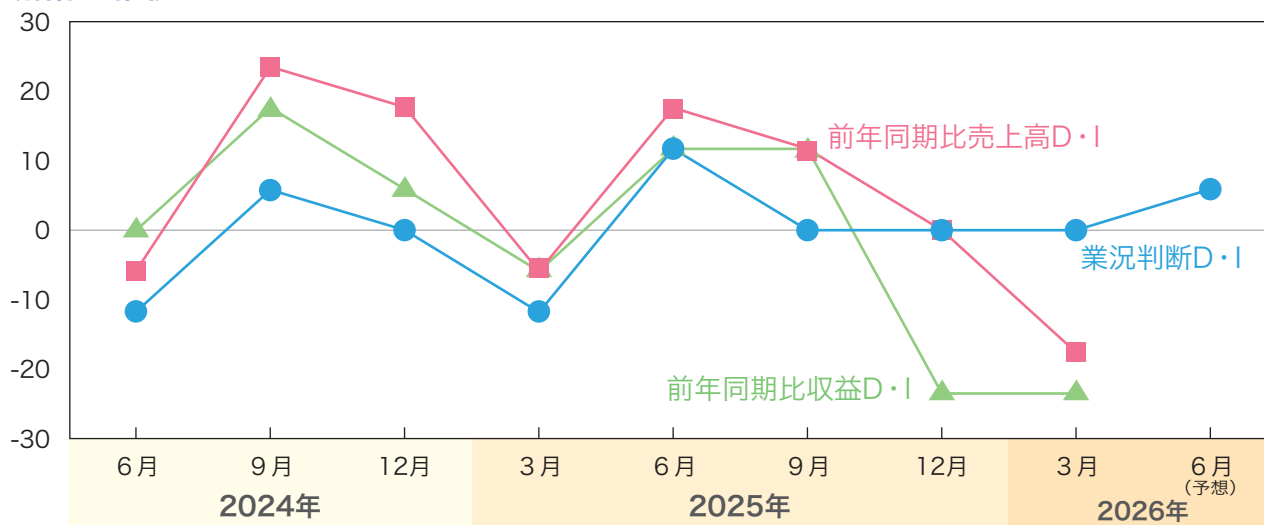
今期の業況判断指数(D・I値)は、0.0と前期(10月～12月)と前回同様の結果となりました。業種別ではその他の運輸・通信業で上昇、貨物自動車運輸業で横這い、ハイヤー・タクシー等旅客自動車で下降となっています。売上高D・I値は△17.6と前期比17.6ポイント下降となり、収益D・I値は△17.6ポイントと前期比5.9ポイント上昇しました。車輛維持経費の高騰及びドライバー確保のための人件費負担の増加が収益性の低調要因と推察されます。

	前年同期	前期	今期	見通し
業況D・I	△11.8	0.0	0.0	5.9
売上高D・I	△5.9	0.0	△17.6	—
収益D・I	△5.9	△23.5	△17.6	—

## 来期の見通しについて

その他の運輸・通信業で引き続き上昇見通しとなっています。他の業種では横這いを見込んでおり、業界全体では改善の見通しとなっております。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・ドライバー不足解消策として、女性ドライバーを積極的に採用。
- ・冬期間の少雪の影響もあって売上減少。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期		今期	
第1位	燃料価格の上昇	70.6%	人手不足	64.7%
第2位	人手不足	64.7%	燃料価格の上昇	52.9%
第3位	売上の停滞・減少	29.4%	売上の停滞・減少	41.2%

(複数回答)

## 当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今期	
第1位	経費を節減する	94.1%	経費を節減する	88.2%
第2位	販路を広げる	47.1%	人材を確保する	47.1%
第3位	人材を確保する	41.2%	販路を広げる	41.2%

(複数回答)



# 農業



## 概況

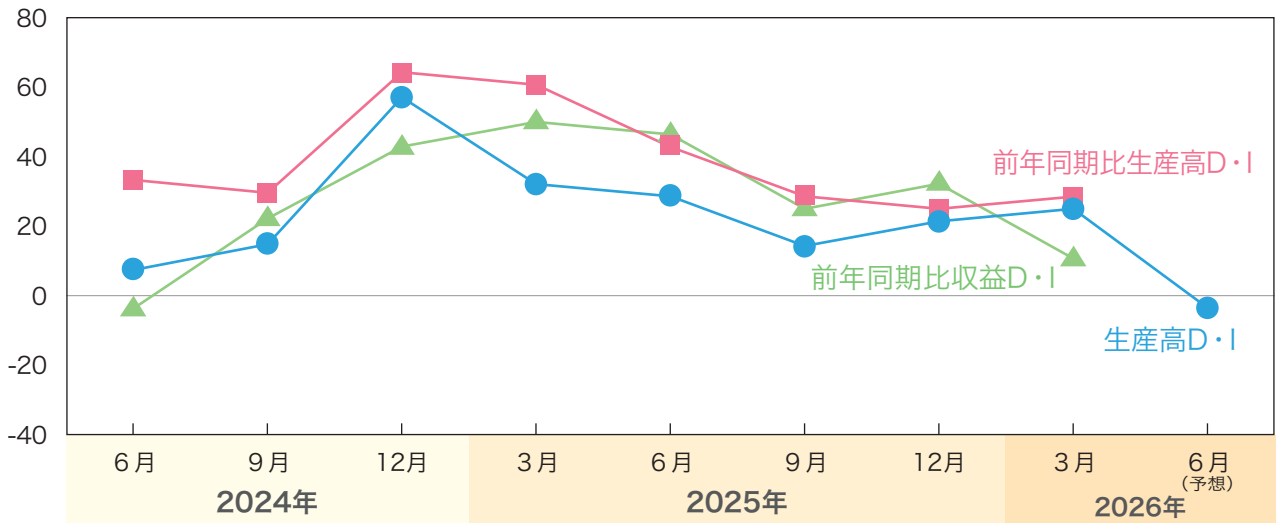
今期の生産高判断指数（D・I値）は、25.0と前期（10月～12月）に比べ3.6ポイント上昇、前年同期比生産高（D・I値）については、28.5と前期比3.5ポイント上昇、米単価の高騰（最高値）が主因として挙げられる。一方で収益D・Iについては、燃料・肥料・飼料などコスト負担増加により前期比21.5ポイント悪化しております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	32.1	21.4	25.0	△3.5
前年同期比生産高D・I	60.7	25.0	28.5	—
収益D・I	50.0	32.2	10.7	—

## 来期の見通しについて

米については価格高騰による消費者離れや作付面積の増加により、民間在庫が過剰となる見込みから価格暴落の懸念があります。加えて中東情勢緊迫化や長引く円安などにより生産コスト増は避けられず、農業を取り巻く環境は厳しい。新たな水田政策について6月に具体策がまとまる予定であり、「水田活用の直接支払交付金」制度の見直しについては注視が必要。

## 主要指標の推移



## 今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・農閑期に除雪業務等のアルバイトにより収入補填。
- ・人手不足については、技能実習生の受入れによりカバーできている。
- ・設備資金の借入規模大きく金利上昇局面にあって、金利負担が収益に影響。

## 経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	生産資材等価格の上昇	57.1%	経費の増加	57.1%
第2位	経費の増加	50.0%	生産資材等価格の上昇	42.9%
第3位	人手不足	39.3%	機械・設備の値上がり	39.3%

(複数回答)

# 特別調査

## 中小企業経営者のライフデザイン

当金庫が今回実施致しました第159回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）172先について「中小企業経営者のライフデザイン」についてアンケート調査した結果です。

問1. 社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。1～5の中からお答えください。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

		10年先の自社の経営展望					社長（代表者）の年齢階層		
		1 事業拡大					6 20歳代、30歳代		
		2 現状維持・横ばい					7 40歳代		
		3 事業縮小					8 50歳代		
		4 廃業・事業譲渡予定					9 60歳代		
		5 わからない					0 70歳代以上		
10年先の自社の経営展望	1 事業拡大	9.5%	25.0%	10.9%	30.0%	27.9%	42.9%	20.9%	
	2 現状維持・横ばい	81.0%	62.5%	54.5%	56.7%	51.2%	28.6%	57.0%	
	3 事業縮小	4.8%	6.3%	9.1%	3.3%	7.0%	14.3%	7.0%	
	4 廃業・事業譲渡予定	4.8%	0.0%	16.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	
	5 わからない	0.0%	6.3%	9.1%	10.0%	14.0%	14.3%	9.3%	
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
社長（代表者）の年齢階層	6 20歳代、30歳代	4.8%	0.0%	1.8%	3.3%	2.3%	0.0%	2.3%	
	7 40歳代	9.5%	12.5%	3.6%	10.0%	7.0%	42.9%	8.7%	
	8 50歳代	33.3%	31.3%	21.8%	40.0%	27.9%	14.3%	28.5%	
	9 60歳代	23.8%	18.8%	38.2%	40.0%	37.2%	28.6%	34.3%	
	0 70歳代以上	28.6%	37.5%	34.5%	6.7%	25.6%	14.3%	26.2%	
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

10年先の自社の経営展望として、「現状維持・横ばい」の回答が57.0%と最も多く、次に「事業拡大」20.9%、「わからない」9.3%、「事業縮小」7.0%、「廃業・事業譲渡予定」が5.8%でした。

社長（代表者）の年齢階層については、「60代」、「70代以上」で60.5%を占め管内企業の世代交代、事業承継が進んでいない状況と推察されます。

問2. 社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は1～6の中から、そうでない方は7～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

		具体的な年齢の目途がある					具体的な年齢の目途はない		
		1 60歳未満					7 健康が続く限り生涯現役		
		2 60～64歳					8 後継者に託せるようになるまでは現役		
		3 65歳～69歳					9 生活資金の見通しがつくまで現役		
		4 70歳～74歳					0 全く考えていない		
		5 75歳～79歳							
		6 80歳以上							
具体的な年齢の目途がある	1 60歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	2 60～64歳	0.0%	6.3%	1.8%	0.0%	7.0%	0.0%	2.9%	
	3 65歳～69歳	0.0%	0.0%	7.3%	6.7%	4.7%	0.0%	4.7%	
	4 70歳～74歳	9.5%	12.5%	9.1%	16.7%	14.0%	28.6%	12.8%	
	5 75歳～79歳	4.8%	18.8%	9.1%	0.0%	4.7%	0.0%	6.4%	
	6 80歳以上	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	
小計		14.3%	37.5%	29.1%	23.3%	30.2%	28.6%	27.3%	
具体的な年齢の目途はない	7 健康が続く限り生涯現役	23.8%	31.3%	43.6%	53.3%	27.9%	42.9%	37.8%	
	8 後継者に託せるようになるまでは現役	57.1%	18.8%	12.7%	13.3%	37.2%	0.0%	24.4%	
	9 生活資金の見通しがつくまで現役	0.0%	0.0%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	
	0 全く考えていない	4.8%	12.5%	9.1%	10.0%	4.7%	28.6%	8.7%	
小計		85.7%	62.5%	70.9%	76.7%	69.8%	71.4%	72.7%	
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

社長（代表者）の経営者としての現役目途の年齢について「具体的な年齢の目途がある」との回答は全体の27.3%で「70歳から79歳」でその半数以上を占めました。また、「具体的な年齢の目途はない」との回答は、72.7%、その内半数の37.8%が「健康が続く限り生涯現役」と回答しております。

問3. 社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

		十分だと思う				まだ不十分だと思う			
		1 貯蓄・資産がすでに十分にある				5 貯蓄・資産が十分ではない			9 まだ考えていない
		2 会社からの退職金が見込める				6 会社からの退職金が見込めない			0 引退しない
		3 年金・保険が見込める				7 年金・保険が見込めない			
		4 何とかなる				8 何となく不安である			
十分だと思う	1 貯蓄・資産がすでに十分にある	33.3%	31.3%	34.5%	53.3%	37.2%	28.6%	37.8%	
	2 会社からの退職金が見込める	4.8%	6.3%	5.5%	3.3%	14.0%	28.6%	8.1%	
	3 年金・保険が見込める	9.5%	6.3%	1.8%	3.3%	4.7%	0.0%	4.1%	
	4 何とかなる	23.8%	37.5%	18.2%	13.3%	14.0%	0.0%	18.0%	
小計		71.4%	81.3%	60.0%	73.3%	69.8%	57.1%	68.0%	
まだ不十分だと思う	5 貯蓄・資産が十分ではない	4.8%	12.5%	12.7%	6.7%	7.0%	0.0%	8.7%	
	6 会社からの退職金が見込めない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.6%	
	7 年金・保険が見込めない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	8 何となく不安である	4.8%	0.0%	14.5%	0.0%	2.3%	0.0%	5.8%	
	小計	9.5%	12.5%	27.3%	6.7%	11.6%	0.0%	15.1%	
	9 まだ考えていない	19.0%	6.3%	12.7%	20.0%	18.6%	42.9%	16.9%	
0 引退しない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

社長（代表者）の引退後の生活資金についての問いに対しては、「十分だと思う」が68.0%と回答し、うち、「貯蓄・資産がすでに十分にある」が最も高い回答となりました。一方、「まだ不十分だと思う」との回答が15.1%、「まだ考えていない」が16.9%となっています。

問4. 社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか。下記の1～0の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 預貯金（円貨）    | 6 不動産        |
| 2 外貨預金       | 7 個人年金保険     |
| 3 債権（国債・社債等） | 8 共済等その他保険商品 |
| 4 投資信託       | 9 仮想通貨       |
| 5 株式         | 0 何もしていない    |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 預貯金（円貨）	63.6%	69.6%	60.9%	76.9%	64.6%	66.7%	65.6%
2 外貨預金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 債権（国債・社債等）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4 投資信託	15.2%	13.0%	11.5%	7.7%	13.8%	22.2%	12.5%
5 株式	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.5%	0.0%	0.8%
6 不動産	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	1.5%	11.1%	1.6%
7 個人年金保険	6.1%	8.7%	4.6%	5.1%	7.7%	0.0%	5.9%
8 共済等その他保険商品	15.2%	8.7%	18.4%	10.3%	10.8%	0.0%	13.3%
9 仮想通貨	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 何もしていない	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

社長（代表者）個人の資産管理・運用については、「預貯金（円貨）」65.6%と最も高く、次いで「共済その他保険商品」で13.3%、投資信託12.5%の結果となりました。

問5. 貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む）しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合はその理由について5から0の中から1つ選んでお答えください。

引上げ

- 1 0%以上2%未満
- 2 2%以上4%未満
- 3 4%以上6%未満
- 4 6%以上

引上げない

- 5 賃上げに見合う価格転嫁ができていない
- 6 同業や同地域内の他社が上げていない
- 7 今後の業績見通しが不透明
- 8 売上の低迷や伸び悩み
- 9 これまでに賃金を引上げ済み
- 0 自社に従業員はいない

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
引上げ	1 0%以上2%未満	33.3%	37.5%	25.5%	53.3%	30.2%	33.7%
	2 2%以上4%未満	14.3%	25.0%	5.5%	10.0%	23.3%	14.5%
	3 4%以上6%未満	0.0%	0.0%	1.8%	3.3%	4.7%	2.3%
	4 6%以上	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	2.3%	1.2%
小計	47.6%	62.5%	34.5%	66.7%	60.5%	57.1%	51.7%
引上げない	5 賃上げに見合う価格転嫁ができていない	9.5%	0.0%	5.5%	0.0%	9.3%	5.2%
	6 同業や同地域内の他社が上げていない	4.8%	0.0%	1.8%	3.3%	2.3%	2.3%
	7 今後の業績見通しが不透明	19.0%	25.0%	21.8%	13.3%	16.3%	18.6%
	8 売上の低迷や伸び悩み	14.3%	0.0%	12.7%	6.7%	7.0%	14.3%
	9 これまでに賃金を引上げ済み	0.0%	0.0%	1.8%	3.3%	4.7%	2.9%
	0 自社に従業員はいない	4.8%	12.5%	21.8%	6.7%	0.0%	0.0%
小計	52.4%	37.5%	65.5%	33.3%	39.5%	42.9%	48.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2026年度の賃金の引上げ（ベースアップ）の実施（実施予定含む）については、「引上げ」が51.7%、「引上げない」が48.3%とほぼ半数ずつの回答となりました。「引上げ」の回答のうち「0%以上2%未満」が33%と最も多く次いで「2%以上4%未満」14.5%となっております。一方、「引上げない」との回答理由のうち「今後の業績見通しが不透明」が18.6%と最も多く、次いで「売上の低迷や伸び悩み」9.3%、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」5.2%と続きました。

# 主要経済指標

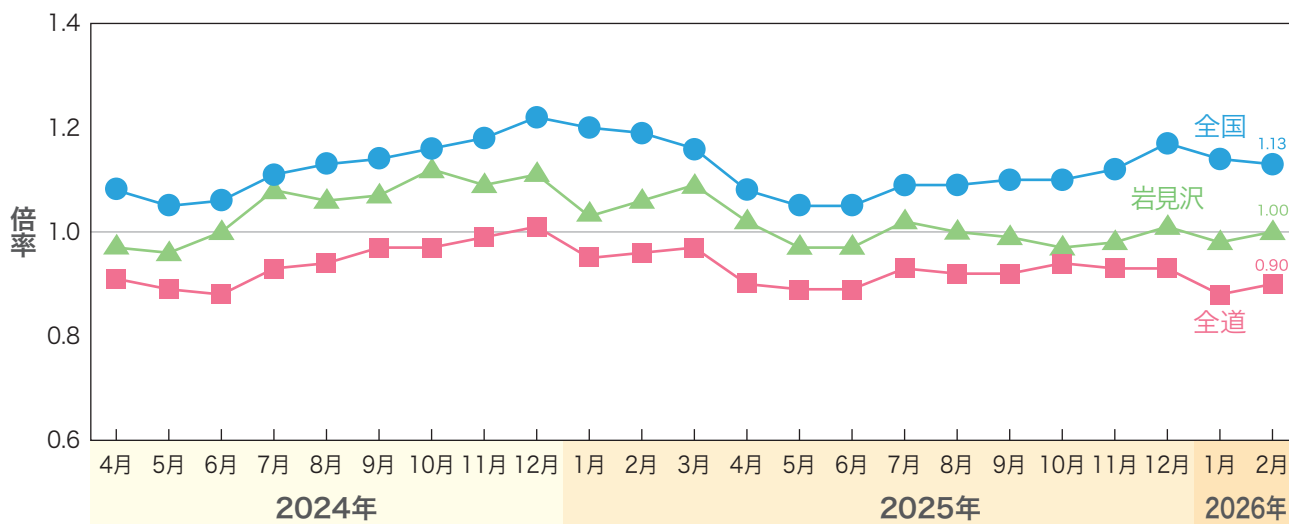
## 1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2025年											2026年	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
岩見沢市	73,565	73,510	73,431	73,317	73,238	73,171	73,105	73,008	72,939	72,795	72,663	72,581	
美唄市	18,233	18,211	18,175	18,144	18,117	18,075	18,039	18,008	17,956	17,908	17,859	17,801	
三笠市	7,168	7,183	7,146	7,120	7,099	7,087	7,063	7,035	7,012	6,988	6,988	6,962	
栗山町	10,580	10,571	10,571	10,564	10,535	10,534	10,532	10,536	10,513	10,499	10,472	10,454	
南幌町	8,036	8,066	8,059	8,076	8,105	8,125	8,128	8,159	8,161	8,182	8,196	8,227	
由仁町	4,490	4,490	4,480	4,472	4,473	4,470	4,469	4,467	4,465	4,457	4,450	4,449	
長沼町	9,838	9,848	9,832	9,832	9,838	9,822	9,824	9,805	9,779	9,760	9,753	9,730	
江別市	117,517	117,801	117,801	117,841	117,849	117,835	117,874	117,812	117,751	117,764	117,666	117,609	

(資料：空知総合振興局)

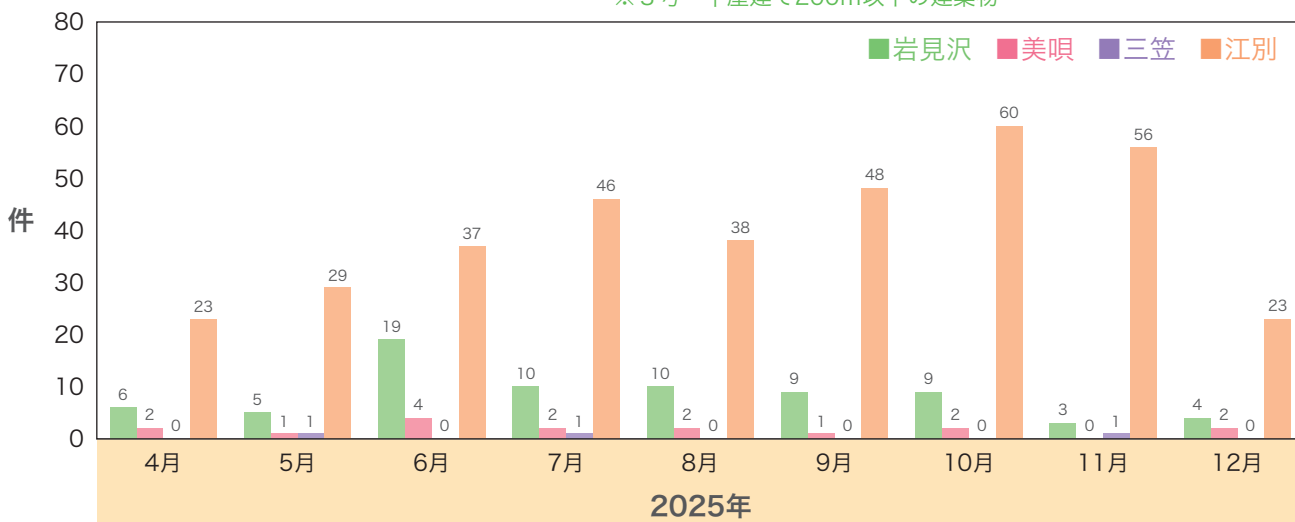
## 2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

## 3. 建築確認申請数 (2号・3号)

※ 2号…2階建て以上の建築物または、平屋建て200㎡超の建築物  
 ※ 3号…平屋建て200㎡以下の建築物

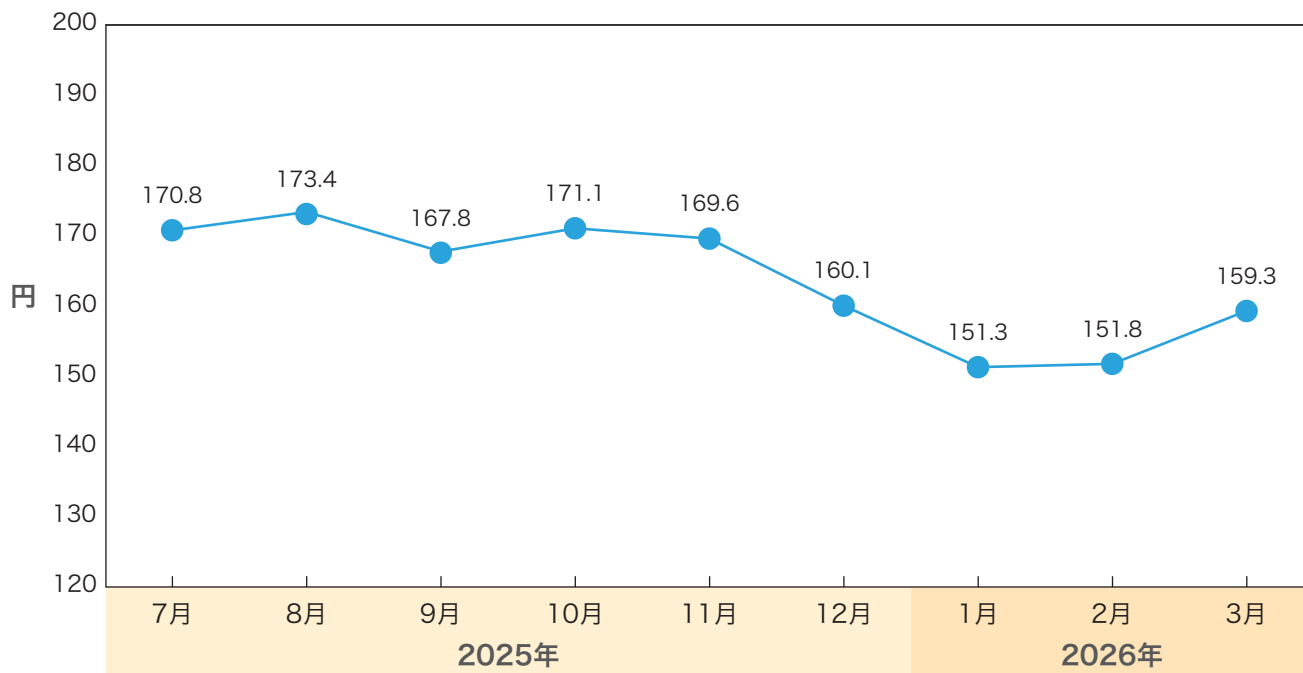


(資料：北海道建設部住宅局)

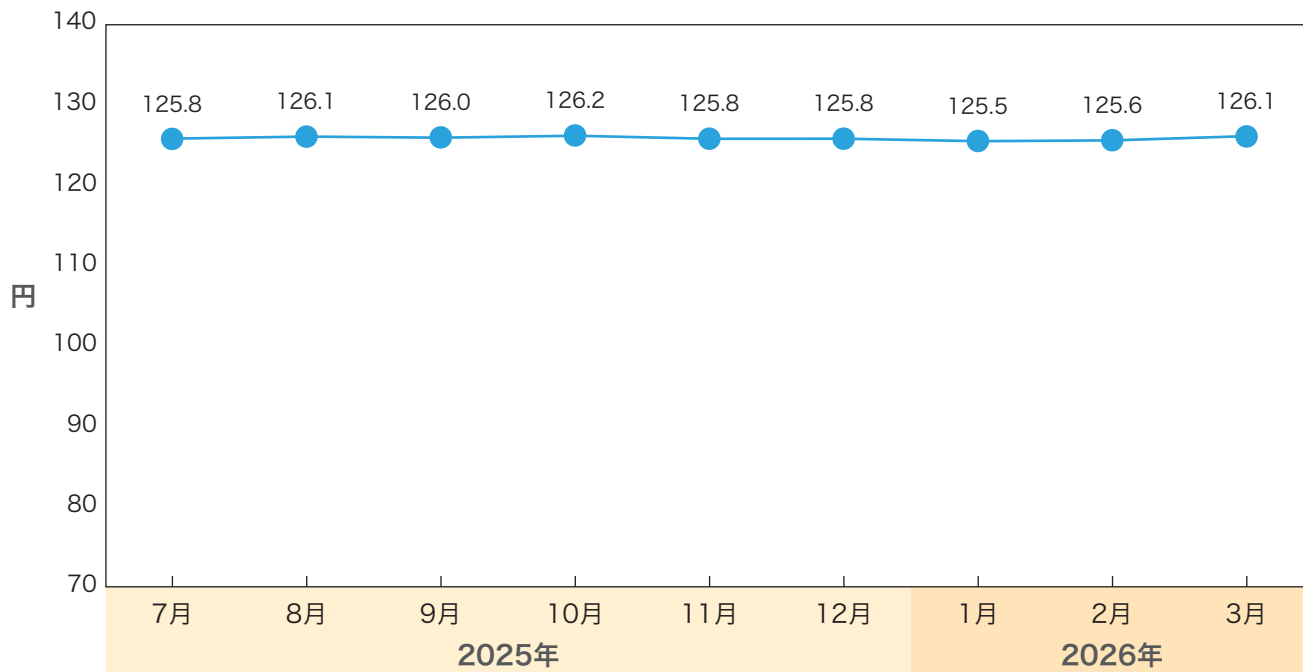
#### 4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

##### ① ガソリン



##### ② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

# ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫 地域支援部までご連絡ください。

## MIRAIconnects株式会社

取引店：白石支店

### <会社紹介/事業内容>

MIRAIconnects株式会社は、2018年の設立以来、自社のオリジナルブランドである「St.Mapleセントメープル・メープルシロップ」をメインに輸入卸販売を行っております。また、2021年以降は全国の百貨店（主に三越伊勢丹）にて、催事出店販売や自社ECサイトなどでの小売販売にも力を入れております。更に、2023年江別市の「酪農学園大学」の生乳を使用したソフトクリームにセントメープルをトッピングして販売をスタート。2024年には、「St.Maple the Shop'n'cafe」（セントメープル・ザ・ショップアンドカフェ）として、初の自社直営店舗をオープンいたしました。

### <自社オリジナルブランド紹介>

毎年新物の100%ピュア・メープルシロップをこだわり抜いたカナダ・ケベックの森から直輸入する、日本でも数少ないメープルシロップのブランド。北海道を拠点に北海道産の食材とのコラボを手がけながら、全国の皆様に愛されるブランドを目指しています。2023年第14回調味料選手権・甘味部門において最優秀賞を受賞。同年、G7札幌サミットでは、カナダ政府訪問団の公式ギフトに選ばれました。

〒003-0024 札幌市白石区本郷通5丁目南4-35 1F  
担当者：東 / 川崎 様  
Tel 011-600-2880 Fax 011-600-2881  
Hp <http://st-maple.com/>  
E-mail [info@miraiconnects.com](mailto:info@miraiconnects.com)



## 空知信用金庫の社会的取組み

空知信用金庫では、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

### そらちしんきんアグリセミナーの開催（令和8年3月9日(月)）

農業分野においては人手不足が深刻化しており、地域農業の振興及び人材育成が課題となっております。本セミナーでは、外国人材の受け入れ制度（技能実習・特定技能等）の概要、現場での育成・定着に向けたポイント、成功事例を交えて採用・検討を目的とする「現場で生きる！農業における外国人材の受け入れと定着ポイント～人手不足に新たな選択肢を～」を解説いただきました。当金庫では今後も関係機関・団体と連携し、農業者に対する「本業支援」の一環としてサポートを行ってまいります。



そらちしんきん

懸賞金付き  
定期預金

募集総額

50億円  
(10億円×5ユニット)

**SORAチャンス!**

募集期間

令和8年  
4月15日(水)~  
令和8年  
12月30日(水)



**100万円...1本**  
(10万円×10本)

※大賞は、抽せんで決定した当せん番号から連続する10本の番号が、それぞれ賞金10万円で当せんするものです。この10本をすべて同一のお客さまが保有している場合に限り、最大100万円の受取となります。

1等賞 **10万円... 最大5本**    2等賞 **3万円... 最大15本**  
3等賞 **1万円... 最大100本**    4等賞 **3千円... 最大500本**

※取扱期間終了時において、発売実績が50億円に満たない場合には、懸賞金の当せん本数が表示されている本数より少なくなることがあります。

- ご利用いただける方／個人および個人事業主の方    ■お預入期間／3年
- お預入金額／1契約10万円以上1,000万円未満(10万円単位)

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



# 店舗・ATMのご案内

## 店 舗

		ATMご利用時間		
		●平日	●土曜日	●土・日・祝日
岩見沢市内店	本 店	〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45~19:00 9:00~17:00
	鉄北支店	〒068-0042 岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00~18:00 -
	日の出支店	〒068-0824 岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00~18:00 -
	美園支店	〒068-0814 岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00~18:00 -
	幌向支店	〒069-0371 岩見沢市幌向南1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00~18:00 9:00~17:00
南空知管内	栗沢支店	〒068-0127 岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00~18:00 9:00~17:00
	美唄支店	〒072-0023 美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00~18:00 9:00~17:00
	三笠支店	〒068-2153 三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00~18:00 9:00~17:00
	栗山支店	〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00~18:00 9:00~17:00
	由仁支店	〒069-1297 夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00~18:00 -
札幌市・江別市内	長沼支店	〒069-1332 夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00~18:00 -
	南幌支店	〒069-0237 空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00~18:00 9:00~17:00
	札幌支店	〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目2番地 (事務所)千歳法人オフィス 〒066-0062 千歳市千代田町7丁目1789-3 千歳ステーションプラザ4階	TEL 011-271-3421	9:00~18:00 -
	札幌北支店	〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00~18:00 -
	琴似支店	〒063-0812 札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00~18:00 -
	白石支店	〒003-0026 札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00~18:00 -
	平岸支店	〒062-0932 札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00~18:00 -
	厚別支店	〒004-0065 札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00~18:00 -
	札幌西支店	〒063-0061 札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00~18:00 -
	札幌東支店	〒065-0019 札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00~18:00 -
江別支店	〒067-0074 江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00~18:00 9:00~17:00	

## 店舗外ATMコーナー

		ご利用時間	
		●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目	9:00~21:00 9:00~21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目	9:00~19:00 9:00~17:00
	本店春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号	9:00~17:00 -
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目	9:00~17:00 -
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目	9:00~19:00 9:00~18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目	9:00~17:30 -
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1	9:00~17:00 -
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目	9:00~17:00 -
三笠市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1	9:00~19:00 9:00~17:00



第159回地域企業景気動向調査  
景況レポート 2026.4  
発行 2026年4月30日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1  
空知信用金庫 地域支援部  
TEL 0126-22-1171  
<https://www.shinkin.co.jp/sorachi/>